

事業名	市制施行60周年記念事業
-----	--------------

総事業費	1,335 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	計画的で効率的な行政運営の推進
	基本事業名	情報発信・広聴の充実

② 実施 (Do)

事業の意図	市の文化的資源を再発見し、次世代につなぐ、各種イベントで楽しんでもらう。	
事業の実績 と 成果	取組内容	<p>・平成29年度の計画策定に沿って、各イベントを実施。既存イベントの冠事業は、それぞれの担当で実施し、新規イベントについては秘書広報係を中心に実施した。・新規イベント7（記念式典・いけばな展・郷土芸能・ふるさとフェスタ・NHK人形劇・歴史シンポジウム・市史編さん）、既存イベント冠事業7（ヨットレース・こどもまつり・ふるさと交流大会・鉄砲まつり・市民体育祭・市民文化祭・市民フェア）→記念式典、ふるさと交流大会は台風のため中止。</p> <p>ほか、ロゴマーク作成、ピンバッジ作成、市政の窓「アーカイブス特集」、記念誌作成</p>
	成果	西之表市の歴史や文化などの良さを感じることのできるイベントを多く開催して参加いただいた。特にいけばな展や郷土芸能大会などは、記念の年に実施する事業であることから、多くの市民の皆さんがご来場いただいた。ふるさとフェスタだけでも、2000人の来場者があった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	周年事業のあり方についてのご意見（どの程度の事業をするべきか、そもそも税金を使って祝うべき出来事か、盛大にするべき等）をいただいた。次の70周年事業の際にも、どの程度の実施が妥当か、議論が必要である。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	記念式典が台風の影響で開催できなかったのは残念であったが、生け花展、郷土芸能祭、ふるさとフェスタなど各種行事を大きな問題なく進めることができた。職員のがんばりに感謝したい。

④ 改善 (Action)

2019年度方向性	平成30年度事業終了
-----------	------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	ふるさとフェスタでの郷土芸能大会の様子。当日は汗ばむ陽気の晴天に恵まれ、約2000人の市民がイベントに参加した。

事業名	市政広報事業
-----	--------

総事業費	6,641 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	計画的で効率的な行政運営の推進
	基本事業名	情報発信・公聴の充実

② 実施 (Do)

事業の意図	広報紙やHP等、あらゆる媒体を活用し、西之表市の情報や魅力を知ってもらう。	
事業の実績 と 成果	取組内容	<p>市民全体、西之表市の情報を必要とする方に市政の内容や市内行事、ニュースを広く市民に伝えるため、広報紙「市政の窓」、「お知らせ版」を発行した。紙面割について、「まちのわだい」や市のニュースを前の方のページに掲載するよう努めた。また、掲載記事の内容が古いとの指摘をいただいたため、一部締日を延長して対応した。</p> <p>HPについては、28年度にリニューアルを行い、各担当で編集作業を行う体制に移した。古い記事がそのまま残っていたり、新着表示の有無が適正になされていなかったりと、利用者の方からも声が寄せられた。これについては、定期的に点検を呼びかけ、使用方法を周知するなどして対応した。また、29年度に策定した西之表市広報活動取組の指針に基づき、ホームページの点検やSNSの活用検討を行った。</p>
	成果	<p>興味をもってもらいやすい「まちのわだい」、市のニュースを前の方のページに掲載したことにより、見やすくなったという声が聞かれた。しかし、「広報紙を読んでいる人の割合」は微減となった（市民アンケートの結果による）。一方で、有料広告掲載希望者が増加し、紙面内にも掲載できるよう要領を改正して対応した。「掲載記事の内容の古さ」については、その後苦情等は寄せられていない。</p> <p>HPについては、28年度のリニューアルにより、音声読み上げ機能や背景色変更等の機能を備え、アクセシビリティに配慮したシステムとなった。また、各担当で編集作業を行い、電子決裁となったため、発信までの時間が短縮された。寄せられた意見についてはその都度対応している。その後も修正点等の指摘はあるが、引き続き対応を行うとともに、いっそうの点検に力を入れたい。SNSの活用検討については、実施・運用に向けてガイドラインや利用規約を作成中。緊急時の広報媒体としても活用が期待できるため、次年度も引き続き検討を進める。</p>

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	ホームページリニューアル後2年が経過し、各担当でページの作成、編集を行うことで、情報発信にかかる時間は短縮できた。一方で、ページの作り方や、送り方、特にアクセシビリティ配慮の点が統一されていない。この点について改善すべきページの洗い出し等の作業が必要となってくる。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	概ね良好に広報活動はできていると考える。昨年記述した事務事業の単位の問題も、基本事業単位との認識でも整理できるのかもしれないと考え、修正は求めないこととした。

④ 改善 (Action)

2019年度方向性	広報紙「市政の窓」、「お知らせ版」を発行し、市政の内容や市内行事、ニュースを広く市民に伝える。ホームページが新しい情報に更新されているか、見やすいページになっているかの点検、効果的な掲載時期を意識した情報発信を行う。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明